

「山の蟲」  
 青々と曇り深まる山原に  
 焚く火の色、  
 親しく思はる  
 (水の上)  
 釈 迢空

## 祭儀

▽大祝(夏越の祓)  
 6月30日(月)午後4時 神殿前庭  
 7月1日(火)午前10時 神殿

## 名誉教授に3氏



横山實氏 海老沢礼司氏 矢吹省司氏

国学院大学は、平成26年3月をもって退職した、法学部元教授の横山實氏、人間開発学部元教授の海老沢礼司氏、矢吹省司氏の3氏に対して、平成26年4月1日付で名誉教授の称号を授与した。

授与式は、渋谷キャンパス若木タワーの学長室で、6月2日午前11時から行われた。

# 東京・渋谷から文化発信 ミュージアム連携事業がスタート



「東京・渋谷から日本の文化を発信するミュージアム連携事業」概念図

### 渋谷区

- 伝統的な知恵や技術の体験の場を提供(例: 勾玉づくりや紙すきを体験)
- 地域の文化を生かした日本文化の学びを体験・実感する場の提供



### 東洋文庫

- アジアの歴史・文化の普及と地域的・国際的人材育成(国学院大学の宗教文化教育を普及する人材育成・プログラム構築と発信に基づく連携)



### 山種美術館

- 同館の展示テーマに連動した共同フォーラムを開催
- 芸術との融合(浮世絵すり体験やテーマ運動コンサート等)

国学院大学は、今年度から本学博物館が中核館として、都内の文化機関や公共団体などとの連携事業をスタートさせた。地域の美術館・歴史博物館と連携し、相互の知的・物的資源の活用と交流をはかることで文化の発展や地域社会の振興・人材育成に寄与することを目指している。

「東京・渋谷から日本の文化を発信するミュージアム連携事業」と銘打たれた事業は、本学、渋谷区、公益財団法人山種美術館、公益財団法人東洋文庫が構成団体となり始動。今年度は、文化庁「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」にも採択された。4月30日には、渋谷キャンパス博物館で第1回「東京・渋谷から日本の文化を発信するミュージアム連携事業」実行委員会会議が開かれ、赤井益久学長をはじめ各代表者が出席し、顔合わせと各事業の概要説明が行われた。今後は、①外国人を含む

## 台湾・世新大学学長が表敬訪問



モニュメント「翔」の前で記念撮影する頼学長(左)と視察団

4月22日正午、本学の協定校である世新大学(台湾)から頼鼎銘学長と教職員が本学を表敬訪問した。

一行は渋谷キャンパスに到着の後、赤井益久学長と懇談。その後、国際交流課職員案内で、3号館1階の学食・和[NAGOMI]、学術メディアセンター、博物館などを見学し帰国の途についた。

同大学は台湾台北市にあり、ジャーナリスト関係研究を主に、19学科4研究所を有する大学で、本学とは、平成12年1月に協定を締結。以来、毎年同大学から交換留学生を受け入れている。

イベント	開催日
日本文化と宗教文化への理解を深めた人材を育成するミュージアム連携事業	
紙すき体験(連携:渋谷区)	7月26日(土)、27日(日)
探検!ミュージアム(連携:渋谷区)	7月30日(水)
貝塚で知ろう貝の生態(連携:渋谷区)	8月4日(月)
勾玉づくり(連携:渋谷区)	8月9日(土)、10日(日)
「ミュージアムと宗教文化」研究会(連携:東洋文庫)	大学HP等で告知予定
日本文化を体験・実感するミュージアム連携事業(連携:山種美術館)	
特別列品「浮世絵に描かれている水一広重と国芳の名品を中心に」	7月20日(日)~8月5日(火)
山種美術館・展覧会「水の音-広重から千住博まで-」関連フォーラム	8月3日(日)
「浮世絵すり体験」	8月5日(火)
企画展「富士山-その景観と信仰-芸術-」	9月1日(月)~10月11日(土)
トークイベント「不二之山」-山伏の世界に身を投じた写真家、井賀孝が捉えた富士山」	9月6日(土)
フォーラム「富士山信仰と歴史・文学」	9月15日(月・祝)
ワークショップ「富士講の世界-渋谷の富士塚を歩く」	9月20日(土)

※実施場所、時間、申し込み方法等、詳細は大学HP、チラシ等をご参照ください



## 神代鎮座記念祭を斎行

第84回神代鎮座記念祭(斎主・茂木貞純神道文化学部教授)が、5月1日午前11時から渋谷キャンパス神殿で斎行され、坂口吉一理事長、赤井益久学長はじめ本法人傘下諸学校の教職員・学生などが参列した。

前日の大雨から一転、夏を感じる陽気の中、本学教職員、学生が参列して祭典は行われ、神道文化学部学生によって「浦安の舞」が奉納された。

## 院友会・宮城県支部 復興祈念事業を開催

国学院大学院院友会と同宮城県支部は、東日本大震災復興祈念事業として、5月31日午後1時30分から、日立システムホール仙台(宮城県仙台市)で「悠久の雅」雅楽の世界へのいざない」を開催し、本学客員教授で雅楽師の東儀秀樹氏が講演を行った。

はじめに、院友会宮城県支部長の鍵三天氏(昭48卒・81期生)があいさつ。講演に移った。

東儀氏が登場すると、会場につめかけた約500人の聴講者から割れんばかりの拍手が贈られた。



龍笛を使って演奏する東儀氏

最初に、クラシックの名曲である「ジュピター」の演奏を行った後、トークライブへ。同氏は、「現在は小学校の音楽の教科書にも掲載されている雅楽だが、どのような楽器が使われ、歴史をたどってきたのかは意外と知られていない」と語り、実際の演奏で使われている笙・篳篥・龍笛などの楽器を紹介しながら、雅楽の演奏が日本文化といかに密接に関わりがあるのかについて解説した。

そして、グローバル化が叫ばれる現代の日本社会において、「二番大切なことは日本語や日本文化を大切にすること」と締めくくった。

また、同会場では本学担当者が入試相談ブースと「目で聴く舞楽」装束と絵巻の特別展示を行い、講演会終了後、聴講者を中心に約150人が足を止めて、本学所蔵の舞楽絵巻と陵王の装束を見学した。

院友会では、平成23年以降、東日本大震災で被災した地域の支部を対象に、伝統文化の継承と地元の活性化を目的とした復興事業の支援を行っている。今回は、その一環として、院友会と宮城県支部の共催という形で事業が実現した。

## みはるかすもの

6月13日からサッカーW杯ブラジル大会が開催される。オリンピックよりも観戦者が多いと言われることもあり、世界中が開国国ブラジルに目を向けることだろう。日本からはほぼ地球の裏側に位置するため、現地観戦が困難なことはもとより、時差のためテレビ観戦もままならない。サッカーファンの寝不足が心配される。▼全ての動物には体内時計が存在し、真っ暗な場所でも身体の時間はほぼ保たれている。また時間のリズムを保つことで心身の安定も促される。現生人類がアフリカで誕生して約25万年と言われるが、百年ほど前までは人類は皆太陽の下で生活していた。夜といえは火の明かりのみで、夜更かしもロウソクや炬燵では活動が限られた。▼光源や電力の技術が発達し、今では夜でも昼間のような明るさが得られる。夜行性でもない人類は、時間を気にすることなく行動が可能となった。▼しかし25万年かけて遺伝子の中に組み込まれたリズムは、たかだか百年で変えられることはなく、少しずつ身体に負担をかけることとなる。夜型といわれる行動は、単なる長期の時差ぼけを生む。数々の現代病の原因がここ起因してないことも限らない。▼サッカーは技巧が目を引くスポーツでもある。健全なスポーツの観戦こそ、健全な心身を養うものでありたい。世界中が一体感になれる数少ない機会に、人類の得た可能性と限界を再認識して観戦してほしいかがたろう。

# 平成25年度決算

表1 資金収支計算書 (法人全体)平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

収入の部			支出の部			
科目	予算	決算	科目	予算	決算	
学生生徒等納付金収入	13,791	13,886	人件費支出	9,608	9,700	
手数料収入	615	662	教育研究経費支出	3,758	3,358	
寄付金収入	340	444	管理経費支出	1,018	876	
補助金収入	2,084	2,105	借入金等利息支出	42	40	
資産運用収入	888	1,495	借入金等返済支出	911	911	
資産売却収入	50	50	施設関係支出	1,595	559	
事業収入	146	159	設備関係支出	398	384	
雑収入	374	489	資産運用支出	3,196	3,197	
借入金収入	656	655	その他の支出	269	323	
前受金収入	3,159	3,370	予備費	409	—	
その他の収入	1,001	1,110	資金支出調整勘定	△227	△273	
資金収入調整勘定	△3,574	△3,839	当年度支出合計	20,978	19,075	
当年度収入合計	19,532	20,586	次年度繰越支払資金	16,511	19,468	
前年度繰越支払資金	17,957	17,957				
収入の部合計	37,489	38,543	△1,054	支出の部合計	37,489	38,543

表2 資金収支計算書 (大学)平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

収入の部			支出の部			
科目	予算	決算	科目	予算	決算	
学生生徒等納付金収入	10,400	10,475	人件費支出	6,219	6,306	
手数料収入	519	557	教育研究経費支出	2,792	2,429	
寄付金収入	250	350	管理経費支出	706	623	
補助金収入	701	717	借入金等利息支出	19	17	
資産運用収入	645	1,111	借入金等返済支出	690	690	
資産売却収入	50	50	施設関係支出	1,551	517	
事業収入	134	148	設備関係支出	351	335	
雑収入	196	285	資産運用支出	2,611	2,624	
借入金収入	500	500	その他の支出	574	593	
前受金収入	2,656	2,810	予備費	150	—	
その他の収入	767	804	資金支出調整勘定	△132	△153	
資金収入調整勘定	△2,905	△3,090	当年度支出合計	15,531	13,981	
当年度収入合計	13,913	14,717	次年度繰越支払資金	3,397	5,735	
前年度繰越支払資金	5,015	4,999				
収入の部合計	18,928	19,716	△788	支出の部合計	18,928	19,716

表3 消費収支計算書 (法人全体)平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

消費収入の部			消費支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
学生生徒等納付金	13,791	13,886	人件費	9,300	9,507
手数料	615	662	教育研究経費	5,221	4,845
寄付金	355	456	うち減価償却額	1,463	1,487
補助金	2,084	2,105	管理経費	1,176	1,027
資産運用収入	888	1,495	うち減価償却額	157	151
事業収入	146	159	借入金等利息	42	40
雑収入	403	567	資産処分差額	27	44
			予備費	409	—
			消費支出の部合計	16,175	15,463
帰属収入合計	18,283	19,330	△1,047	当年度消費収入超過額	△1,115
基本金組入額合計	△3,223	△2,208	△1,015	前年度繰越消費収入超過額	1,848
収入の部合計	15,060	17,122	△2,062	翌年度繰越消費収入超過額	733

表4 消費収支計算書 (大学)平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

消費収入の部			消費支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
学生生徒等納付金	10,400	10,475	人件費	5,979	6,262
手数料	519	557	教育研究経費	3,904	3,566
寄付金	265	359	うち減価償却額	1,112	1,137
補助金	701	717	管理経費	827	737
資産運用収入	645	1,111	うち減価償却額	121	115
事業収入	134	148	借入金等利息	19	17
雑収入	220	356	資産処分差額	27	43
その他の収入	60	41	予備費	150	—
			消費支出の部合計	10,906	10,625
帰属収入合計	12,944	13,764	△820	当年度消費収入超過額	△1,203
基本金組入額合計	△2,850	△1,833	△1,017	前年度繰越消費収入超過額	△5,523
収入の部合計	10,094	11,931	△1,837	翌年度繰越消費収入超過額	△6,726

表5 貸借対照表 (法人全体)平成26年3月31日現在

資産の部			負債・基本金及び消費収支差額の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
[固定資産]	94,038	92,050	1,988	[固定負債]	9,131	9,592	△461
(有形固定資産)	60,640	61,351	△711	長期借入金	852	1,042	△190
土地	20,186	20,172	14	退職給付引当金	6,874	7,074	△200
建物	25,717	26,732	△1,015	退職年金引当金	1,405	1,476	△71
構築物	1,927	2,005	△78				
教育研究用機器備品	1,549	1,622	△73	[流動負債]	5,069	5,018	51
その他の機器備品	108	88	20	短期借入金	845	911	△66
図書	10,897	10,707	190	未払金	227	225	2
車両	21	21	0	前受金	3,370	3,336	34
建設仮勘定	234	4	230	預り金	627	546	81
(その他の固定資産)	33,398	30,698	2,700	負債の部合計	14,200	14,610	△410
借地権	1,665	1,665	0				
電話加入権	12	12	0	第1号基本金	88,984	88,071	913
施設利用権	3	3	0	第2号基本金	2,600	1,600	1,000
敷金	19	19	0	第3号基本金	3,798	3,504	294
差入保証金	6	6	0	第4号基本金	1,051	1,051	0
有価証券	1,102	1,152	△50	基本金の部合計	96,433	94,226	2,207
収益事業元入金	2	2	0				
長期貸付金	3	8	△5	翌年度繰越消費収入超過額	3,507	1,848	1,659
施設設備準備資産	13,194	12,179	1,015	消費収支差額の部合計	3,507	1,848	1,659
奨学費引当特定資産	863	804	59	負債・基本金および消費収支差額の部合計	114,140	110,684	3,456
国際交流引当特定資産	210	210	0				
退職年金信託等資産	1,377	1,457	△80				
施設設備拡充引当資産	2,600	1,600	1,000				
学研出版助成引当資産	278	289	△11				
課外活動援助引当資産	210	210	0				
第3号基本引当資産	3,798	3,504	294				
退職給付引当特定資産	5,798	5,402	396				
日文充実引当資産	0	10	△10				
教員振興引当特定資産	2,176	2,046	130				
出資金	82	120	△38				
[流動資産]	20,102	18,634	1,468				
現金預金	19,468	17,957	1,512				
未収入金	503	584	△81				
短期貸付金	4	5	△1				
前払金	86	46	40				
立替金	1	3	△2				
預け金	40	40	0				
資産の部合計	114,140	110,684	3,456				

平成25年度学校法人国学院大学決算は、監事および監査法人の監査を経て、5月29日に開催された第1回理事会で承認、同日開催の第1回評議員会に報告し、了承されましたので、以下に説明します。

収入には借入金収入等の負債となる収入なども含まれ、また支出には経費のほか資産を形成する資本的支出および借入金返済支出等も含まれています。従って資金収支計算書には、当該期間中の資金取引が全て網羅されています。

文中、表の金額は、説明のため百万円未満を四捨五入等調整し、百万円単位で表しています。

平成25年度学校法人国学院大学決算は、監事および監査法人の監査を経て、5月29日に開催された第1回理事会で承認、同日開催の第1回評議員会に報告し、了承されましたので、以下に説明します。

収入には借入金収入等の負債となる収入なども含まれ、また支出には経費のほか資産を形成する資本的支出および借入金返済支出等も含まれています。従って資金収支計算書には、当該期間中の資金取引が全て網羅されています。

文中、表の金額は、説明のため百万円未満を四捨五入等調整し、百万円単位で表しています。

平成25年度学校法人国学院大学決算は、監事および監査法人の監査を経て、5月29日に開催された第1回理事会で承認、同日開催の第1回評議員会に報告し、了承されましたので、以下に説明します。

収入には借入金収入等の負債となる収入なども含まれ、また支出には経費のほか資産を形成する資本的支出および借入金返済支出等も含まれています。従って資金収支計算書には、当該期間中の資金取引が全て網羅されています。

文中、表の金額は、説明のため百万円未満を四捨五入等調整し、百万円単位で表しています。

## 資金収支計算書

### 法人全体(表1)

#### 《収入の部》

◆学生生徒等納付金収入  
1104億7500万円  
予算に対して、授業料収入、施設設備資金収入などで増収となり、学生等納付金としては7500万円ほどの増収となりました。

◆手数料収入  
5億5700万円  
予算に対して、3800万円の増収となりました。

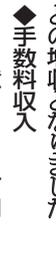
◆寄付金収入  
3億5000万円  
特別寄付金収入が予算に対して9900万円ほど上回った結果により増収となりました。

◆補助金収入  
17億1700万円

#### 《支出の部》

◆当年度支出合計の決算額は、190億7500万円です。これを収入の部から差し引きますと、次年度繰越支払資金は194億6800万円でした。

## 帰属収入の構成比(大学)



## 消費支出の構成比(大学)



## 消費収支計算書

### 法人全体(表3)

#### 《帰属収入の部》

◆当年度消費収入超過額  
137億6400万円  
手数料、寄付金、補助金、資産運用収入等の増収により予算に比べ8億2000万円の増でした。

#### 《消費支出の部》

◆前年度繰越消費収入超過額  
26億2400万円  
主に、将来の施設設備を充実させるために積み立てておく施設設備準備資産や、退職者の退職金に備えるために積み立てておく退職給付引当特定資産等の各種引当特定資産に積み立てるために繰入支出を計上しております。

#### 《消費収入の部》

◆帰属収入合計  
1137億6400万円

◆前年度繰越消費収入超過額  
26億2400万円

## 貸借対照表

### 法人全体(表5)

平成25年度学校法人国学院大学決算は、監事および監査法人の監査を経て、5月29日に開催された第1回理事会で承認、同日開催の第1回評議員会に報告し、了承されましたので、以下に説明します。

収入には借入金収入等の負債となる収入なども含まれ、また支出には経費のほか資産を形成する資本的支出および借入金返済支出等も含まれています。従って資金収支計算書には、当該期間中の資金取引が全て網羅されています。

文中、表の金額は、説明のため百万円未満を四捨五入等調整し、百万円単位で表しています。

平成25年度学校法人国学院大学決算は、監事および監査法人の監査を経て、5月29日に開催された第1回理事会で承認、同日開催の第1回評議員会に報告し、了承されましたので、以下に説明します。

収入には借入金収入等の負債となる収入なども含まれ、また支出には経費のほか資産を形成する資本的支出および借入金返済支出等も含まれています。従って資金収支計算書には、当該期間中の資金取引が全て網羅されています。

文中、表の金額は、説明のため百万円未満を四捨五入等調整し、百万円単位で表しています。

平成25年度学校法人国学院大学決算は、監事および監査法人の監査を経て、5月29日に開催された第1回理事会で承認、同日開催の第1回評議員会に報告し、了承されましたので、以下に説明します。

貸借対照表

法人全体(表5)

資産総額は、前年度から34億5600万円増加して114億4000万円です。固定資産のうち有形固定資産は、主に大学部門で体育館の取り壊し等により、前年度末残高に対して7億1100万円ほど減少しております。

700万円は前年度末残高に対して2億5600万円ほど減少しております。

格付けと今後の財務運営

学校法人国学院大学は次の2社から格付けを取得しております。平成25年度の格付けは次のとおりです。格付け理由などの詳細は、本学ホームページを参照ください。

AA (安定的)

AA (安定的) 平成18年取得・26年維持 ※2段階中3番目

AA- (安定的)

AA- (安定的) 平成18年取得・26年維持 ※2段階中4番目 「2014年度入試では、センター試験利用入試のV方式が大きく増え

財産の維持更新に必要な運用可能資産の充実度は高く、進行中の渋谷キャンパス第2次再開発による財務負担も小さい。こうした点を勘案し、本学の格付けを据え置きとし、その見直しを安定的とした。」(講評抜粋)

なさそうだ。」(講評抜粋) 学校法人に対する格付けは、大学経営の安定性・健全性が評価対象であり、これらと連関した教育・研究の充実度の指標ともいえます。

平成27年度入試の変更点

国学院大学平成27年度入学試験の主な変更点は次のとおり。◆一般入学試験▽A日程は3日目の試験を2教科型から3教科受験型の「学部学科特色型」に変更。募集人員は文・法・人間開発の3学部で3日間均等となる。▽B日程は神道文化学部で「英語または国語(古典)を事前選択」から英語必須となり、国語(現代文)の配点が2倍(200点満点)に。▽C日程は個別試験の選択科目(地歴・公民・数学)が削除となり、全学部全学科で英語・国語の2教科となる。神道文化学部は国語の配点が2倍(400点満点)に。▽法学部は法律専門職専攻でA日程3日目とB日程、政治専攻でA日程3日目の募集を新たに行い、3専攻ともA・B・C日程がすべて受験可能となる。

平成26年度一般入試結果

受験界は依然「理高文低」の風が吹き、また「国立志向」「地元志向」の傾向が強い。加えて昨年度は受験生自体が全国的に少なく、前年度比の約4%減、4万7000人ほどの減という厳しい状況の中、首都圏の有名私立大学の多くの文系学部で志願者を減らした。そうした中で、本学がほぼ2万人人という志願者を集め、約25000人の入学者を確保できたことは、本学に対して一定の評価が存続していることを示す証左と言えよう。

◆制度別

全国的な受験生の減少傾向は、推薦・特別選考(非教科型)入試にも影響を及ぼし、公募制自己推薦(AO型)においても、入学者は例年と同程度確保できたが、志願者は90人ほど減少した。また、高校3年生が少ない影響は附属・系列3校からの推薦入学者数にも表れ、前年よりも65人少ない247人という結果になった。

さて、一般入試全般であるが、全体の志願者数は前年度に対し10200人減、95.0%に留まり、平成22年度以降4年連続で維持していた2万人を、残念ながら、割り込む形となった。

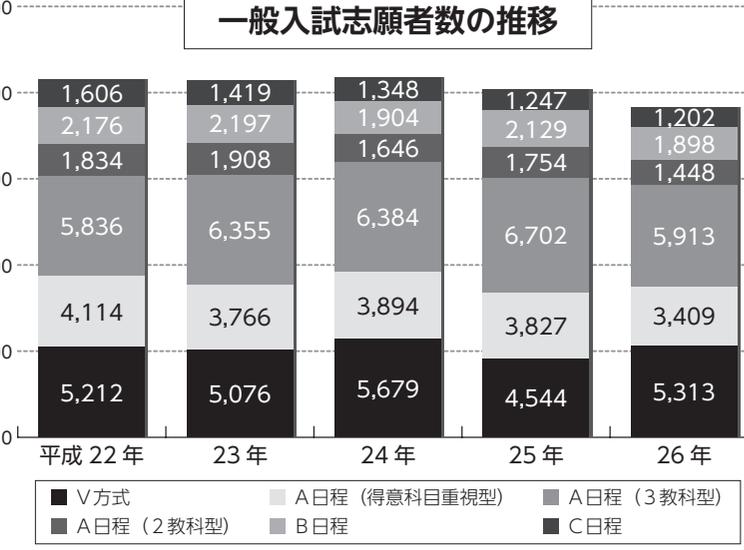
国公立・地方志向依然と続く

2月の後半に実施するB日程は大雪の影響のためか、窓口受付が前年度の半数程度と伸び悩み対前年比89.1%の1898人に終わった。実施時期がA日程と近く、他の主要大学の入試とも重なるだけに、志願者を増やすことがなかなか難しい入試出願制度であるとはいえず、郵送の件数では前年度を若干下回っていただけに2000人台を維持

できなかったことは残念である。3月上旬実施のC日程は、B日程と同水準の志願者数を確保していた平成17年度以降は減少の一途を辿っている。早めに入学者決定する「安定志向・堅実志向」の傾向はさらに強まっている。志願者数は対前年比96.4%の1202人と、A・B日程に比べ減少の幅は小さく、辛うじて1

で50%台〜70%台と、かつて見られなかったほどの低調ぶりであり、全体の前年度比は79.1%と大幅に減少した。神道文化学部は唯一80%台となったA2教科を除く全制度で前年度以上の志願者を積み上げ、全体で107.0%となった。一般入試においては、若干増加・減少の波はあるものの、大崩れしない安定性がこの学

看板の専攻でありながら低調な状況が続いていたが、平成26年度は全学科・専攻で唯一、全4制度で増加、前年度比120.1%と躍進した。政治専攻は法律専門職専攻と同様、前年度の減少から増加に転じ、A得意科目を除く4制度で増加、全体では115.7%と大幅に増加した。経済学部は全国的な不人気が続く中で、比較的安定して志願者を確保してきたが、平成26年度は全体で49.1人減、前年比90.3%となり、法学部の減少と合わせ、大学全体の志願者数を押し下げる2大要因となった。経済学部は例年通り堅調であり、A3教科、A得意科目を除く全制度で、前年度並み以上の志願者を積み上げ、全体では前年度比101.6%と、3学科中では唯一増加した。経済ネットワーキング学部については、A2教科、B日程では低調であったが、V方式・A3教科を中心に着実に志願者を確保し、全体で98.6%と減少を食い止めた。経済学部に見劣りしない結果であった。人気レベルと



2月の後半に実施するB日程は大雪の影響のためか、窓口受付が前年度の半数程度と伸び悩み対前年比89.1%の1898人に終わった。実施時期がA日程と近く、他の主要大学の入試とも重なるだけに、志願者を増やすことがなかなか難しい入試出願制度であるとはいえず、郵送の件数では前年度を若干下回っていただけに2000人台を維持

たためか、A2教科とC日程以外の4制度で増加し、文学部では唯一、志願者増加(前年度比122.6%)の学科となった。史学科はA2教科を除き比較的堅調で、全体では前年度並みの99.5%を確保し、看板学部の面目を保った。近年人気が高く、学力レベルでも看板の2学科に肩を並べる存在となっていた哲学科は、V方式を除く全制度

たためか、A2教科とC日程以外の4制度で増加し、文学部では唯一、志願者増加(前年度比122.6%)の学科となった。史学科はA2教科を除き比較的堅調で、全体では前年度並みの99.5%を確保し、看板学部の面目を保った。近年人気が高く、学力レベルでも看板の2学科に肩を並べる存在となっていた哲学科は、V方式を除く全制度

高さが示される結果となった。開設2年目となる子ども支援学は、この分野で志願者数が少ないことに加え、他大学・短大・専門学校の競合もあるため、志願者は初等教育学科に比べ少なめにならざるを得ない。A・B・C日程全体では前年度比31人減、93.1%とやや減少したが、大学入試センター試験成績とに合わせ、他大学・短大・専門学校の競合もあるため、志願者が116人上積みされ、全体では85人増の18.9%となった。

# 平成26年度 一般入学試験結果

( )内は女子内数

学部	学科	コース	入試制度	募集人員	志願者数				受験者数				合格者数				
					総数	現役内数	総数	現役内数	総数	現役内数	総数	現役内数					
文	日本文	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	30	774	(483)	609	(413)	774	(483)	609	(413)	219	(150)	172	(130)	
				70	800	(495)	617	(413)	787	(488)	609	(408)	205	(132)	163	(116)	
		A日程	得意科目 2教科型	25	438	(263)	344	(217)	429	(257)	341	(215)	100	(62)	78	(51)	
				15	249	(160)	185	(130)	240	(153)	180	(125)	41	(31)	30	(24)	
	中国文	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	4	373	(213)	271	(169)	319	(182)	234	(145)	68	(36)	44	(27)	
				20	107	(51)	76	(41)	87	(43)	65	(36)	15	(8)	11	(7)	
		A日程	得意科目 2教科型	7	140	(82)	102	(63)	128	(78)	98	(62)	31	(21)	23	(14)	
				5	79	(46)	51	(32)	79	(46)	51	(32)	40	(22)	23	(14)	
	外国語文化	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	14	42	(23)	26	(15)	42	(23)	26	(15)	21	(13)	14	(9)	
				40	50	(29)	31	(19)	48	(27)	30	(18)	27	(16)	16	(11)	
		A日程	得意科目 2教科型	10	22	(14)	13	(10)	21	(13)	12	(9)	11	(9)	8	(7)	
				8	20	(14)	13	(8)	17	(11)	11	(6)	11	(6)	8	(4)	
史	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	20	23	(14)	16	(9)	22	(14)	15	(9)	5	(2)	4	(2)		
			68	702	(256)	539	(225)	702	(256)	539	(225)	147	(49)	105	(40)		
	A日程	得意科目 2教科型	22	865	(346)	702	(306)	858	(342)	698	(303)	160	(53)	112	(45)		
			16	652	(212)	517	(179)	644	(209)	513	(177)	128	(36)	94	(25)		
哲	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	10	140	(66)	102	(54)	134	(65)	100	(53)	17	(10)	10	(6)		
			18	227	(95)	145	(65)	227	(95)	145	(65)	88	(39)	59	(30)		
	A日程	得意科目 2教科型	7	137	(63)	85	(41)	130	(59)	82	(39)	60	(28)	39	(18)		
			5	87	(31)	57	(21)	81	(27)	56	(20)	37	(13)	24	(8)		
法	神道文化	フレックスA フレックスB V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	4	38	(23)	22	(14)	34	(19)	21	(13)	13	(7)	11	(6)	
				11	56	(28)	34	(17)	42	(17)	26	(11)	10	(4)	6	(4)	
		A日程	得意科目 2教科型	5	39	(15)	16	(7)	34	(12)	15	(6)	5	(3)	2	(2)	
				7	40	(255)	359	(165)	548	(229)	345	(154)	213	(94)	141	(68)	
	法律	フレックスA フレックスB V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	11	227	(95)	145	(65)	227	(95)	145	(65)	88	(39)	59	(30)	
				163	195	(81)	144	(66)	195	(81)	144	(66)	40	(20)	30	(17)	
		A日程	得意科目 2教科型	15	148	(54)	98	(42)	144	(54)	96	(42)	10	(1)	5	(1)	
				10	150	(51)	101	(39)	144	(51)	101	(39)	36	(18)	24	(14)	
	政治	フレックスA フレックスB V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	5	81	(28)	51	(19)	79	(26)	50	(18)	19	(2)	11	(1)	
				3	81	(41)	49	(32)	77	(38)	46	(29)	17	(9)	12	(7)	
		A日程	得意科目 2教科型	3	94	(35)	64	(30)	75	(29)	51	(26)	6	(3)	3	(2)	
				7	69	(12)	43	(9)	62	(9)	41	(8)	16	(5)	9	(4)	
人間開発	法律	フレックスA フレックスB V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	5	69	(12)	43	(9)	62	(9)	41	(8)	7	(0)	2	(0)	
				3	18	(7)	15	(6)	16	(6)	13	(5)	3	(2)	2	(1)	
		A日程	得意科目 2教科型	3	376	(134)	244	(100)	370	(132)	241	(99)	168	(60)	103	(41)	
				3	170	(58)	105	(42)	170	(58)	105	(42)	104	(31)	63	(22)	
	経済	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	20	105	(33)	70	(24)	103	(32)	70	(24)	34	(13)	22	(9)	
				29	49	(14)	39	(13)	69	(18)	37	(12)	22	(7)	12	(5)	
		A日程	得意科目 2教科型	3	376	(134)	244	(100)	370	(132)	241	(99)	168	(60)	103	(41)	
				3	189	(38)	125	(32)	189	(38)	125	(32)	100	(19)	64	(15)	
	経営	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	20	263	(58)	164	(46)	257	(57)	162	(45)	84	(16)	49	(12)	
				40	129	(25)	88	(18)	123	(25)	85	(18)	40	(8)	29	(7)	
		A日程	得意科目 2教科型	3	45	(14)	23	(11)	32	(8)	17	(8)	3	(1)	1	(1)	
				3	23	(8)	11	(6)	19	(8)	11	(6)	3	(1)	1	(1)	
初等教育	健康体育	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	30	649	(143)	411	(113)	620	(136)	400	(109)	230	(45)	144	(36)	
				80	263	(58)	164	(46)	257	(57)	162	(45)	84	(16)	49	(12)	
		A日程	得意科目 2教科型	10	129	(25)	88	(18)	123	(25)	85	(18)	40	(8)	29	(7)	
				10	45	(14)	23	(11)	32	(8)	17	(8)	3	(1)	1	(1)	
	子ども支援	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	10	38	(8)	11	(6)	19	(8)	11	(6)	3	(1)	1	(1)	
				35	649	(143)	411	(113)	620	(136)	400	(109)	230	(45)	144	(36)	
		A日程	得意科目 2教科型	10	743	(130)	506	(98)	731	(129)	500	(97)	181	(35)	116	(25)	
				10	362	(51)	239	(41)	356	(51)	236	(41)	71	(11)	42	(9)	
	人間開発	初等教育	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	10	129	(30)	76	(21)	127	(30)	76	(21)	30	(8)	20	(6)
					10	220	(51)	127	(35)	193	(48)	119	(33)	22	(4)	13	(2)
			A日程	得意科目 2教科型	10	246	(50)	124	(34)	234	(49)	118	(33)	33	(7)	20	(4)
					20	130	(219)	552	(164)	846	(193)	542	(160)	202	(46)	117	(39)
健康体育		V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	20	347	(50)	205	(37)	347	(50)	205	(37)	90	(6)	46	(4)	
				40	181	(53)	121	(43)	177	(52)	118	(42)	44	(17)	28	(14)	
		A日程	得意科目 2教科型	10	103	(25)	76	(23)	101	(24)	76	(23)	19	(4)	15	(4)	
				10	112	(39)	76	(32)	110	(37)	75	(31)	27	(11)	17	(10)	
子ども支援		V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	10	59	(17)	40	(16)	53	(16)	36	(15)	10	(4)	5	(3)	
				10	60	(15)	34	(13)	58	(14)	32	(12)	12	(4)	6	(4)	
		A日程	得意科目 2教科型	10	862	(199)	552	(164)	846	(193)	542	(160)	202	(46)	117	(39)	
				20	388	(113)	280	(101)	388	(113)	280	(101)	106	(31)	70	(24)	
人間開発	健康体育	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	20	499	(156)	379	(140)	490	(153)	375	(139)	98	(20)	63	(18)	
				50	210	(61)	162	(51)	205	(60)	158	(50)	41	(11)	34	(10)	
		A日程	得意科目 2教科型	10	145	(46)	99	(40)	134	(44)	94	(38)	30	(13)	20	(10)	
				10	89	(27)	59	(23)	78	(25)	51	(21)	12	(5)	9	(4)	
	子ども支援	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	10	60	(16)	37	(12)	53	(16)	35	(12)	10	(4)	6	(3)	
				35	365	(153)	263	(121)	365	(153)	263	(121)	62	(27)	43	(22)	
		A日程	得意科目 2教科型	10	367	(133)	289	(113)	362	(130)	284	(110)	60	(23)	42	(18)	
				35	311	(118)	237	(99)	305	(114)	231	(95)	50	(22)	38	(19)	
	人間開発	健康体育	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	5	123	(55)	92	(43)	117	(52)	88	(41)	8	(4)	6	(3)
					5	127	(44)	90	(38)	110	(40)	77	(34)	20	(8)	14	(8)
			A日程	得意科目 2教科型	5	95	(36)	66	(29)	92	(36)	64	(29)	12	(4)	7	(3)
					10	1,388	(539)	1,037	(443)	1,351	(525)	1,007	(430)	212	(88)	150	(73)
子ども支援		V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	10	239	(77)	164	(57)	239	(77)	164	(57)	43	(14)	29	(10)	
				35	317	(88)	236	(69)	312	(86)	233	(68)	56	(17)	35	(14)	
		A日程	得意科目 2教科型	5	191	(72)	144	(59)	186	(70)	140	(57)	35	(12)	26	(10)	
				5	73	(18)	55	(14)	70	(18)	52	(14)	7	(2)	7	(2)	
人間開発		健康体育	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	5	118	(43)	90	(34)	105	(39)	80	(31)	7	(2)	4	(1)
					5	72	(24)	53	(21)	70	(24)	51	(21)	7	(1)	4	(1)
			A日程	得意科目 2教科型	10	116	(91)	106	(88)	116	(91)	106	(88)	26	(21)	22	(19)
					35	142	(125)	130	(119)	138	(121)	126	(115)	32	(30)	29	(28)
	子ども支援	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	10	115	(98)	105	(93)	114	(97)	104	(92)	27	(21)	25	(21)	
				5	68	(62)	63	(60)	65	(59)	60	(57)	7	(5)	6	(4)	
		A日程	得意科目 2教科型	5	60	(52)	54	(51)	52	(44)	46	(43)	14	(11)	12	(11)	
				5	34	(28)	25	(23)	32	(27)	24	(22)	7	(6)	5	(5)	
	人間開発	健康体育	V方式(センター利用)	3教科型 得意科目 2教科型	10	55	(456)	483	(434)	517	(439)	466	(417)	113	(94)	99	(88)
					35	535	(456)	483	(434)	517	(439)	466	(417)	113			

# 新卒求人倍率1.61倍、0.33ポイント上昇

平成25年度の就職状況は、景気回復の後押しを受けて、学生にとってはリーマン・ショックと東日本大震災後、久々の好環境となった。とはいえ、採用側の厳選傾向には変わりなく、早期から確固とした「就職観」を身に付けて就職活動に臨んだ学生が、希望に沿ったところから首尾よく内定を得ているという状況に変わりがない。

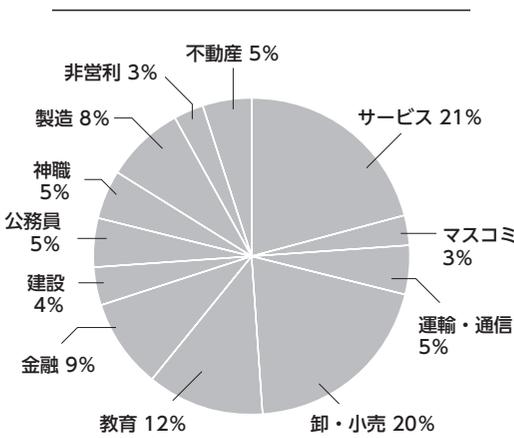
(学生事務部キャリアサポート課)

## 就職率

平成25年度の大学の就職率は、前年度に比べて2.3ポイント上昇した。

学部別に見ると、文学部では86.8%、法学部では90.3%、経済学部では90.0%、人間文化学部では96.0%、人間開発学部では98.4%となった。

業種別就職状況 (大学全体)



業種別に見ると、文学部では、サービス24%、卸・小売21%、教育17%、製造9%、金融7%、ほか。法学部では、卸・小売23%、サービス23%、金融12%、公務員10%、製造7%、不動産7%、ほか。経済学部では、卸・小売24%、サービス23%、金融13%、製造10%、建設6%、不動産6%、ほか。神道文

## 企業

リーマン・ショック、それに続く東日本大震災の影響による景気下落と経済停滞も、ここ一年余りの積極的な金融・財政政策により好転し、回復を見せてきている。これを受けて企業関係の採用意欲も高まり、平成25年度の新卒有効求人倍率は1.61倍と、大幅な上昇を見た。

この就職動向を見ると、大手著名企業への志向は高いが、業界や企業研究が甘く、広域な勤務を敬遠するなど、企業の希望と掛け離れて苦戦する者も多かった。また、安易な志望動機により、内定獲得に苦戦する学生も目立った。

公務員の採用試験実施状況は、国家公務員総合職で14.8倍(24年度19.9倍)、国家公務員一般職(行政)で6.0倍(同15.8倍)であった。地方公務員では、上級職で東京都I類(行政)7.5倍をはじめ、各道府県でも倍率が軒並み10倍前後となった。また、政令指定都市を中心とした市役所でも12倍前後。警視庁警察官I類男性9.1倍、女性10.5倍、他の道府県警察でも5倍前後である。

公務員の採用試験実施状況は、国家公務員総合職で14.8倍(24年度19.9倍)、国家公務員一般職(行政)で6.0倍(同15.8倍)であった。地方公務員では、上級職で東京都I類(行政)7.5倍をはじめ、各道府県でも倍率が軒並み10倍前後となった。また、政令指定都市を中心とした市役所でも12倍前後。警視庁警察官I類男性9.1倍、女性10.5倍、他の道府県警察でも5倍前後である。

公務員は、身分が安定していることも公への奉仕としての働きがいがあり、就職先として常に人気が高い。本学においても各学年でそれぞれ500人程度が、公務員採用試験の受験を視野に入れている。

この数年、大幅な国家公務員の定員削減と採用抑制が行われたが、その歪みを是正するための緩和策が採られた結果、ここに来て採用数も増加してきている。

しかしながら、効率ある行政運営が求められることとに変わりなく、筆記試験合格後の二次試験では、民間企業と同様の集団面接やグループ・ディスカッションが多く取り入れられている。公務員においても一般企業と同様に、能動的な志望理由と積極性が求められる。

## 平成25年度就職率

# 前年度より2.3ポイント上昇

## 教員

この背景には、首都圏公立・私立学校の臨時任用教員または講師(時間給勤務者含む)等の教員求人が3月中旬から4月下旬頃まで年度を越えて数多く就職センターへ寄せられたこと、また、卒業後も、本学に居る教員求人を斡旋・紹介するサポートシステム(教員求人登録)に、多くの学生が登録したことにより、求人先のニーズとのマッチング作業が効果を挙げたと思われる。

また、本学独自調査による既卒者の公立中学校・高等学校専任教員合格者は52人(東京都他、21自治体教育委員会に対する聞き取り調査)平成26年4月採用の公立中学校・高等学校専任教員採用者総数(新採用者を含む)は、65人であった。

本学学生の教員採用試験受験状況(公・私立学校含む)は、教職課程単位修得者289人のうち、117人が受験した。教員免許状を取得し、かつ、教員採用試験を受験した学生を教員志望者とした場合、教員志望者に対する教員就職率は71.7%であった。

さて、昨今の教員採用試験では独学での採用試験突破は極めて困難になっており、その理由として、平成18年度中教審答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」教員養成・免許制度の改革の具体的な方策一以降に見られる全国的な採用方針の変化があげられる。近年は、教育者として

の使命感、豊かな人間性や社会性、さまざまな体験に裏付けられた確かな指導力などを備えた優れた人材を確保することが重要視されており、人物評価を重視した選考に移行されている。また、受験者の資力、適性を多面的に評価するために教養・専門などの筆記試験のほかに、1次試験の段階で、面接、実技、作文・論文、模擬授業等の多様な方法の組み合わせによる採用試験が実施されている。採用試験の多様化により、教員としてふさわしい人間性や教育的実践力に比重を置いている採用側の姿勢や、受験年齢制限の緩和等により、新規卒業者より現場経験があり、即戦力として期待できる講師経験

者の合格率高く、この傾向に変化はない。

最後に、現役合格者に見られる特徴についてまとめてみたい。彼らは教員を目指す上で最も大切な志望の動機が他の学生に比べ強固であった。「なぜ、教員を目指すのか」、「教員として何がやりたいのか」、「自分には何が出来るのか」など、これら志望の動機を具現化するべく、大学1・2年次から、学校現場へ赴き、教育ボランティア活動や学習補助等、現場体験活動による志望動機の醸成が、3年生から始まる本格的な受験対策におけるモチベーションの持続に繋がっており、結果として努力し続けられた学生が合格を手繰り寄せたとと思われる。

「なぜ、教員を目指すのか」、「教員として何がやりたいのか」、「自分には何が出来るのか」など、これら志望の動機を具現化するべく、大学1・2年次から、学校現場へ赴き、教育ボランティア活動や学習補助等、現場体験活動による志望動機の醸成が、3年生から始まる本格的な受験対策におけるモチベーションの持続に繋がっており、結果として努力し続けられた学生が合格を手繰り寄せたとと思われる。

「なぜ、教員を目指すのか」、「教員として何がやりたいのか」、「自分には何が出来るのか」など、これら志望の動機を具現化するべく、大学1・2年次から、学校現場へ赴き、教育ボランティア活動や学習補助等、現場体験活動による志望動機の醸成が、3年生から始まる本格的な受験対策におけるモチベーションの持続に繋がっており、結果として努力し続けられた学生が合格を手繰り寄せたとと思われる。

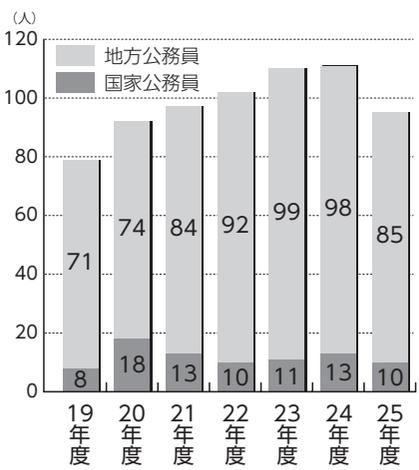
「なぜ、教員を目指すのか」、「教員として何がやりたいのか」、「自分には何が出来るのか」など、これら志望の動機を具現化するべく、大学1・2年次から、学校現場へ赴き、教育ボランティア活動や学習補助等、現場体験活動による志望動機の醸成が、3年生から始まる本格的な受験対策におけるモチベーションの持続に繋がっており、結果として努力し続けられた学生が合格を手繰り寄せたとと思われる。

「なぜ、教員を目指すのか」、「教員として何がやりたいのか」、「自分には何が出来るのか」など、これら志望の動機を具現化するべく、大学1・2年次から、学校現場へ赴き、教育ボランティア活動や学習補助等、現場体験活動による志望動機の醸成が、3年生から始まる本格的な受験対策におけるモチベーションの持続に繋がっており、結果として努力し続けられた学生が合格を手繰り寄せたとと思われる。

「なぜ、教員を目指すのか」、「教員として何がやりたいのか」、「自分には何が出来るのか」など、これら志望の動機を具現化するべく、大学1・2年次から、学校現場へ赴き、教育ボランティア活動や学習補助等、現場体験活動による志望動機の醸成が、3年生から始まる本格的な受験対策におけるモチベーションの持続に繋がっており、結果として努力し続けられた学生が合格を手繰り寄せたとと思われる。

## 公務員

公務員採用推移



## 主要就職先一覧

- 建設業 五洋建設/松井建設/関電工/豆/東亜道路工業/リーノール/三菱電機ビルテクノサービス/積水ハウス/大和ハウス工業 ■マスコミ KADOKAWA/静岡新聞社/静岡朝日テレビ/メディアハウス/MAGICA/日本経済広告社/北國新聞社/富士テレビ放送 ■食品製造業 ノーベル製菓/日本食研ホールディングス/ニチレイフーズ/中村屋/伊藤園/カバヤ食品/亀田製菓/メリーチョコレートカムパニー ■製造業 新日鐵住金/いすゞ自動車/協和発酵キリン/資生堂/ディーエイチシー/ファンケル/塩野義製薬/大塚製薬/ノバルティスファーマ/三菱電機/スタンレー電気/セガ/OTTO/タカラスタンダード/河合楽器製作所/ヨネックス/デサント/ＪＸ日鉱日石エネルギー ■卸売業 ダイワボウ情報システム/リコージャパン/ユニ・チャーム/国分/旭食品/日本酒類販売/良品計画/トール/アイリスオーヤマ/岡村製作所 ■小売業 西武/イオンリテール/セブン-イレブン/ジャパネット/ローソン/ファミリーマート/三省堂書店/東急ストア/ユザワヤ商事 ■銀行 みずほ/フィナンシャルグループ/三菱東京UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/りそな銀行/横浜銀行/千葉銀行/常陽銀行/武蔵野銀行/静岡銀行/第四銀行/八十二銀行/城南信用金庫 ■証券業 野村證券/大和証券/SMB ■他 かんぽ生命保険/住友生命保険/第一生命保険/日本生命保険/ジェイシー/ジャックス/クレディセゾン/三井住友海上火災保険/明治安田生命保険 ■不動産業 住友不動産販売/三井不動産リアルティ/野村不動産アーバンネット/三菱UFJ不動産販売/東急リアル/明和地所 ■運輸・通信・旅行・観光業 東日本旅客鉄道/東京地下鉄/ANAエアポートサービス/JALスカイ/KDDI/郵船ロジスティクス/リコーロジスティクス/JTB首都圏/エイチ・アイ・エス/近畿日本ツーリスト/クラギム/リズム/日本旅行/佐川急便/アサガミ/日本郵便 ■サービス業 プリンセスホテル/八芳園/目黒雅叙園/東京會館/星野リゾート/小田急箱根ホールディングス/ジャパネットパレ/ホールディングス/総合警備保障/インテリジェンス/帝国データバンク/東京商工リサーチ/オリエンタル・インド ■組合・団体 日本私立学校振興・共済事業団/日本年金機構/日本文化興隆財団 ■公務員(国家公務員) 厚生労働省/法務省/裁判所事務官/自衛隊/国立大学法人等 ■公務員(地方公務員) 東京都/埼玉県/千葉県/茨城県/福島県/東京都特別区/市町村役場/警視庁/県警察/東京消防庁/市区町村消防本部(局・組合) ■教員 公立高等学校/中学校/小学校/特別支援学校/公立幼稚園/保育園/私立高等学校/中学校/小学校/公立幼稚園/私立幼稚園/神職 神宮司職/神社本庁/宮内庁掌典職/北海道神宮/太平洋三吉神社/福島県護国神社/大洗磯前神社/日光東照宮/高麗神社/武蔵一宮氷川神社/神田神社/靖国神社/井草八幡宮/大國魂神社/大宮八幡宮/根津神社/日枝神社/布多天神社/明治神宮/代々木八幡宮/鶴岡八幡宮/伊勢原大神宮/寒川神社/白山神社/彌彦神社/北口本宮富士浅間神社/来宮神社/三嶋大社/賀茂御祖神社/貴船神社/伏見稻荷大社/石切御箭神社/大阪天満宮/道明寺天満宮/春日大社/橿原神宮/熊野速玉大社/宇倍神社/出雲大社/金刀比羅宮/太宰府天満宮/宮地嶽神社/宗像大社/祐徳稲荷神社/宇佐神社

# オール国学院を声高らかに

平成26年度

## 院友会支部長会議・院友大会

5月24日、グランドプリンスホテル新高輪を会場に、平成26年度院友会支部長会議および院友大会が開催された。



学生団体によるパフォーマンス

午後1時30分から同ホテル「平安」で行われた支部長会議には、全国59の院友会支部と4つの協力団体から支部長らが集まった。

はじめに、佐藤早苗院友会副会長(昭33卒・66期文)から開会の辞が述べられ、続いて、吉田茂穂副会長(昭40卒・73期政経、昭41修・74期神専攻)があいさつ、来賓として赤井益久学長があいさつした。その後、大学担当者から入試状況や就職状況などに関する報告がなされ、本部からの報告、意見交換へと続いた。

支部長会議終了後の午後5時から、会場を同ホテル「飛天」に移し、上野誠奈良大学文学部教授(昭59卒・92期文、昭61修・94期博前文、平2修・98期博後文)による講演「万葉ひととの対話」グローバル化のなかで」が行われた。

講演会終了後、午後6時から院友大会が開催され、佐藤院友会副会長による開会の辞、国歌斉唱、吉田副会長のあいさつ、赤井学長の祝辞と続いた。

吉田会長はあいさつの中で「この大会が、若い院友へつなげて行く架け橋となすべく、今まで以上に参加者を募ってほしい。今日は世代を超えて大いに語り合ってほしい」と語った。その後、院友会長の贈呈式が行われ、院友の部では昨年11月に文化功労者に選ばれた、本学名誉教授で

# 院友校長の絆を深める 平成26年度 全国院友高等学校長会

院友の高等学校校長で組織されている院友高等学校長会(会長・橋本喜一和洋九段女子中学校高等学校校長、(昭46卒・79期文2))の総会が5月21日午後6時から渋谷キャンパス若木タワー会議室02で開催された。



懇親会終了後、全員で記念撮影。成25年度会計報告、平成25年度教職採用状況の報告、平成26年度入学試験の状況報告がそれぞれなされ閉会した。

総会終了後は、会場を若木タワー有栖川宮記念ホールに移し、懇親会が行われた。

## 春の叙勲

## 本学関係者5氏が受賞

4月29日付で春の叙勲、第22回危険業務従事者叙勲が内閣府から発令された。これまでに判った本学関係の受賞者は次の通り。(敬称略・6月10日現在)

- ◇旭日小綬章(地方自治功労)▽青真弘安(昭40卒・73期政経、元那覇市議会議員)
- ◇瑞宝小綬章(教育功特定郵便局長)◇危険業務従事者叙勲・瑞宝単光章(消防功労)▽小山内壽一(昭44卒・77期法、元青森県木造地区消防事務組合消防司令長)
- ◇瑞宝単光章(消防功労)▽小山内壽一(昭44卒・77期法、元青森県木造地区消防事務組合消防司令長)

## 院友・山井氏、文化庁「文化交流使」に

文化庁が指名する平成26年度の海外派遣型「文化交流使」に、金春(こんばる)流能楽師の山井綱雄氏(平8卒・104期文)を含めた8人が指名され、4月28日に霞が関ビル東海大学校友会館(千代田区)望星の間で、文化交流使指名書交付式が執り行われた。

文化庁文化交流使事業は、諸外国における日本文化への理解や日本と諸外国の芸術家・文化人等の連携協力を促進し、国際文化交流の進捗を図るため、平成15年にはじまった。



文化交流使に指名を受けた山井氏(上段右から2番目)

### 「指定寄付金」にご協力をお願い

学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独自性のある教育研究体制を確立するため、広くご寄付を募っております。皆様方には「理

解とご協力をたまわりたくお願い申し上げます。なお、本法人への指定寄付金は次のとおり税制上の優遇措置を受けることができます。

寄付者名	寄付目的	寄付対象	寄付金額	寄付月日
清水 義一	奨学基金	国学院大学	10,000	平25.11.16
全国院友高等学校長会 会長 橋本 喜一	奨学基金	国学院大学	50,000	11.28
国学院大学院友経済会 会長 青木 宏之	奨学寄付金(東日本大震災被災学生支援金)	国学院大学	100,000	11.28
国学院大学院友会 会長 吉田 茂穂	奨学寄付金(第17回全国高校生創作コンテスト)	国学院大学	100,000	11.29
国学院大学院友会 会長 吉田 茂穂	奨学寄付金(第9回地域の伝承文化に学ぶコンテスト)	国学院大学	100,000	11.29
柴崎 芳雄	教育研究業績の振興	国学院大学	200,000	11.30
国学院大学中国学会 宋代文学研究会 幹事 井上 加菜	奨学寄付金(東日本大震災被災学生支援金)	国学院大学	5,000	11.30
田村 弘	教育研究施設設備充実資金	国学院大学 北海道短期大学部	500,000	12. 4
木村 純	奨学基金	国学院大学	20,000	12.19
中谷 和郎	奨学基金	国学院大学	1,000,000	12.24
石本 道明	奨学寄付金(東日本大震災被災学生支援金)	国学院大学	100,000	12.25
国学院大学生生活協同組合 理事長 長谷川 光一	奨学寄付金(東日本大震災被災学生支援金)	国学院大学	200,000	平26. 1.15
国学院大学院友会 会長 吉田 茂穂	奨学寄付金(第121期卒業記念品制作)	国学院大学	600,000	1.31
加藤 元茂	教育研究施設設備充実資金(神楽関係約太鼓修繕他)	国学院大学	1,000,000	3. 5
経済学会 会長 尾近 裕幸	奨学寄付金(東日本大震災被災学生支援金)	国学院大学	100,000	3.12
経済学部専任会長 尾近 裕幸	奨学寄付金(東日本大震災被災学生支援金)	国学院大学	100,000	3.12
東京都神社庁 庁長 松山 文彦	教育研究施設設備充実資金	国学院大学	350,000	3.18
平井 正則	教育研究施設設備充実	国学院大学 北海道短期大学部	30,000	3.20
後呂 壽道	教育研究施設設備充実	国学院大学 北海道短期大学部	30,000	3.24
国学院大学院友神職会 会長 宮西 惟道	奨学寄付金(研究開発推進センター学術研究資金、本学神道文化学部活動支援資金、ライシャワー研究所をはじめとする国際学術交流資金など)	国学院大学	6,500,000	3.26
合計			11,095,000	

個人住民税については、お住まいの自治体が条例により本法人への寄付を税額控除の対象と指定している場合に限り、確定申告を行うことで住民税が軽減されます。法人からの寄付については、特定公益増進法人に対する寄付金として扱われ、所定の計算式に基づく限度額まで該当事業年度の損金に算入することができます。

寄付金の申し込みと納付が確認できましたら、本法人発行の領収書と文部科学省発行の証明書を送りますので、確定申告などの税務手続きを行ってください。なお、寄付金のお申し込みが手続きについて不明な点があれば、総務課までお問い合わせください。

総務部総務課(寄付金担当)  
☎03・5466・0111  
各方面の方からの寄付に、深く感謝申し上げます。  
(総務部総務課)

## あなたの声が大学を変える 学生リアル調査 7月実施

7月14日(月)から、全学部生を対象としたアンケート「国学院大学学生リアル調査」を実施します。同調査は、学生の意見を聴取して本学の改善につなげることを目的とした新しい試みです。K-SMAPYの「お知らせ」から専用ウェブサイトアクセス、スマートフォンやパソコンなどを使って手軽に回答できます。回答期間は7月31日(木)までの約2週間です。

アンケートは、学生の普段の生活習慣や、時間の使い方、IT利用状況、授業・施設・窓口などへの満足度、本学のイメージなど約30問で構成されています。ほとんどが選択肢から選ぶ方式ですが、自由回答欄も設けています。集められたデータや意見は、統計分析を経て学長にも届けられ、本学の今後の施策に活かされることとなります。

回答に協力してくれた学生には、渋谷・たまプラーザ両キャンパスの学生食堂で利用できる150円相当のクーポン券がもれなく配信されます。さらに、抽選で100人の学生に国学院大学オリジナル図書カード(1000円分)が当たる特典も用意しています。

アンケートの結果は、12月発行の「K:DNA(冬号)」で速報を掲載します。また、来年の学報2月号では、調査結果を詳細に分析した特集記事を掲載する予定です。

学生の生の声を大学運営に反映させる良い機会です。調査の信頼性を上げるためにも、ぜひアンケートの回答にご協力ください。

「学生リアル調査」に関するお問い合わせは、学生生活課・たまプラーザ事務課まで。

# 平成26年度若木育成会総会

在学生の保護者などで組織される国学院大学若木育成会(佐野睦仁会長)の第35回全国支部長懇談会と第44回本部総会が、5月17日に本学渋谷キャンパスで開催された。

全国支部長懇談会は、午



総会であいさつする佐野会長

前11時から若木タワー会議室02で、佐野会長はじめ本部三役、全国の各支部長らが出席して行われた。懇談会でははじめに校友課から、支部運営について説明があった。昼食後、事前アンケートを基に、支部活動の活性化や現状の問題点を中心に意見交換がなされた。特色ある支部の活動など具体的な事例の紹介や意見交換を行い、午後2時ごろ終了した。

本部総会は、午後2時30分から学術メディアセンター常設ホールで、本部役員と各支部長、赤井益久学

長ほか本学教職員が出席し開催された。はじめに佐野会長があいさつをしたのちに続いて赤井学長が、同会からの日ごろの物心両面にわたる支援や、被災学生支援への協力に対する感謝の意を述べた。その後、慣例により佐野会長を議長に選任して議事に入った。

議事では、平成25年度の事業報告、決算・会計監査報告が、全承認された後、平成26年度事業計画として、渋谷・たまプラーザ両キャンパスで「成績に関する個人面談を中心とした『秋季成績等相談会』を開

催すること(9月)や、10月に本部主催「キャンパス見学会」を実施」することなどの説明がなされ、予算案なども上程、全て承認された。

会長・副会長選出では、会長の佐野睦仁氏と、副会長の高島佳代子氏の再任・三竹俊彦氏の新任が上程承認された。続いて会計監査人、吉田正臣氏と廣瀬智子氏、杉崎正彦氏の再任が報告された。

表彰では、昨年度まで副会長を3年務めた前島正氏を大学から、昨年度まで3年連続支部長を務めた中山齊氏(栃木県)、黒沼昭彦氏(宮崎県)の2氏が若木育成会から表彰され、総会は午後4時30分ごろに閉会した。

午後5時30分からは、場

所をランドラブリンスホテル高輪「プリンスルーム」に移して懇親会が行われた。佐野会長、赤井学長のあいさつに続き、来賓の玉井浩二院友会常務理事が祝辞を述べた。その後、若木チャレンジャーの表彰(関連記事8面参照)が行われ、針本正行副学長・文学部教授による乾杯の発声で懇談会に移った。

懇談の途中には、若木チャレンジャー各受賞者と団体代表による活動紹介や、強化3部会のうち、陸上競技部・前田康弘監督、硬式野球部・上月健太郎コーチ、柔道部・坂本大監督が、各部の活動報告を行った。

和やかに進んだ会は、中締めを三竹副会長が務め、午後7時30分にお開きとなった。

平成26年度若木育成会福井県支部の集いが、5月31日午後1時30分からホテルエコノ福井駅前で開催された。福井県の会員17人のうち6組8人の参加があった。まず、中島弘之支部長の進行により支部総会が開かれた。開会の言葉と支部長あいさつに続き、平成25年度事業報告(同収支決算、監査報告、役員改選)、平成26年度事業計画・平成26年度収支予算について、いずれも異議なく承認された。閉会の言葉をもって終了した。引き続き、大学との懇談に移り、宮内靖彦法学部長・教授による小講演「国際法の発展傾向から見た最近の状況」が講ぜられた。いささか堅苦しい題目ではあったが、最近のニュースでも話題による安全保障の話や、捕鯨を例に「自国の利益のみを主張するのではなく、国際社会にとってどうあるべきか」という視点から理論展開がなされなければ通用しない」といった話が、宮内学部長独特の優しい口調で語られた。保護者らは、報道番組の解説を聴くような面持ちで熱心に受講していた。その後、宮内学部長から大学の現状について、職員からは、成績や就職、学生生活について説明がなされた。その後は個別面談に移り、成績表を見ながら、保護者は学修状況や出席状況について質問を繰り返していた。続く懇親会でも、話題は、専ら女子生のごとく、LINEの既読マークに一喜一憂する保護者の思いが切実に伝わってきた。学生の皆さんは、面倒くさがらず、保護者の方からのメールにはその都度で返事しましょう。

## 大学の現状などを報告

翌6月1日には、岐阜県支部の集いが午後1時から岐阜キャンパスで開催された。岐阜県の会員は23人。うち10組13人が出席された。支部総会では、議事に先立ち出席者全員が自己紹介を行った。次いで事業報告と会計報告、役員改選が審議され、いずれも原案通り承認された。議事の中で、黒田直直支部長から、10月に開催される「キャンパス見学会」についての詳しい説明がなされ、ご家族も含めて交通費の一部を補助するので、多数の参加者を願うという熱心な呼びかけがあった。続く大学との懇談も前日同様進行し、個別面談と1年生のグループ面談を以って若木育成会岐阜県支部の集いは終了した。

両県の支部の集いは、両日とも滞りなく終了し、面談を終えた保護者からは、さまざまなお話を聞かされた。改めて直接対話することの大切さと、ご家庭と大学との連携の重要性を感じた2日間であった。

(教学事務部教務課課長補佐・川島富貴子)

## 渋谷区民大学講座を開催

本学では5月から全3回の日程で、渋谷区民大学講座を渋谷キャンパス学術メディアセンター常設ホールで開催。渋谷区民を中心に多数の聴講者が来場した。

第1回は、5月31日午前10時30分から、「百歳と後のたたき」法律家としての徳川吉宗」で題し、高塩博教授が講義を担当する。

法学部教授が、第2回は6月7日午前10時30分から「住宅づくりの「あがり」の先に」高橋明の人口移動学部長が、それぞれ講演した。第3回は14日(土)午前10時30分から「熊野那智参詣曼荼羅を読む」と題し、「三橋伸道文化学部長元教授が講義を担当する。



講演する田原教授

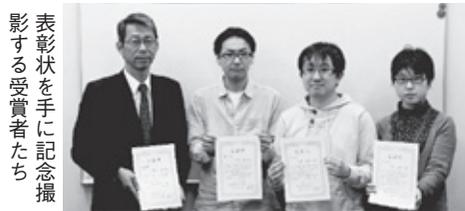
本学では、これまで「渋谷学」を中心に、地元である渋谷を考慮した様々な連携事業を展開してきた。今年度からはそれを「区民大学講座」として集約。渋谷区と連携し、本学の持つ学術資産を地域住民へ還元することを目的に実施した。

来年1月10日(土)には、渋谷駅前の複合商業施設渋谷Hikarie(ヒカリエ)で地域連携イベントを開催する予定だ。

## 法科大学院成績優秀者奨学生表彰式

### 今年度は9人に

平成26年度法科大学院成績優秀者奨学生の表彰式が、5月9日午後5時20分から百周年記念館法科大学院院長室で行われ、武田誠法科大学院長から表彰状が授与された。今年度



表彰状を手に記念撮影する受賞者たち

は9人が奨学生に選ばれ、そのうち4人が表彰式に出席した。

表彰式では、武田法科大学院長があいさつし、受賞者にそれぞれ祝福の言葉を贈るとともに、「次年度以降も継続して表彰されるよう、今後も勉学に励んで欲しい」とエールを贈った。

表彰者は以下のとおり。

河野亮陸君(法務1)、柳田駿君(法務1)、藤橋琢磨君(法務1)、矢田明則君(法務1)、伊東勝志君(法務1)、東史織さん(法務2)、芦川拓真君(法務2)、海老根大朗君(法務2)、宮本和弥君(法務3)

2020年東京五輪の主要会場となる国立競技場は、全面建て直し工事に向け、

56年の歴史に幕を閉じた。同競技場は、昭和33年に東京オリンピック招致のために建設され、以来スポーツの聖地として親しまれてきた。5月31日には、ファイナルイベント「SAYONARA」飛行隊(通称:ブルーインパルス)が華麗なフライトを舞った。本学渋谷キャンパスでも、多くの人が開催、レジェンドマッチが開催された。午後5時30分、本中に大きな感動をもたらしたブルーインパルスが、

50年の時を経て、再び東京の空を舞った。本学渋谷キャンパスでも、多くの人が開催、レジェンドマッチが開催された。午後5時30分、本中に大きな感動をもたらしたブルーインパルスが、



若木タワーから見たブルーインパルス

事務局長からのお知らせ

国学院大学厚生寮

夏季休暇や秋の行楽シーズンにどうぞ

長野県北佐久郡立科町にある本学寮はゼミナールハウスの機能やバーベキュー棟も備えた本学法人の学生・教職員のための厚生施設。白樺湖や夢科牧場など豊かな自然に囲まれ、周辺には美術館や温泉施設も。学生・教職員は1泊2食2500円と格安(利用限度3泊4日)。院友(卒業生)・教職員は、本学義園寮(神奈川県箱根町)も利用可。申し込みは、学生は学生生活課へ、院友・教職員は、人事課へ(人事課:03・5466・0105/学生生活課:03・5466・0145)。

空室状況は本学ホームページで確認可能。

講座・学会等のご案内

「戦国・徳川期の古文書」

第10回国学院大学学術センター

展示史料は「大田瀧澤状」「織田信長朱印状」「羽柴秀吉直書」など約30点。9/13(土)・9/23(火・祝)・松本市時計博物館企画展示室(松本)、10/4(土)・10/13(月・祝)ときめいと(新潟大学駅南キャンパス)、10/18(土)・11/8(土) 国学院大学博物館(本学渋谷キャンパス)。

詳細はホームページまで。お問い合わせは広報課へ(03・5466・0130)。

公開古典講座「源氏物語・万葉集」

7/23(水)・7/27(日)に渋谷キャンパス学術メディアセンター常設ホールで開催。「源氏物語」の時間は午前9時30分〜午後0時25分。テーマは「柏木(巻(前半))」を読む。講師は、針本正行文学部教授ほか。「万葉集」の時間は、午後1時10分〜午後4時5分。テーマは「巻八」を読む。講師は、辰巳正明文学部教授ほか。

伝統文化に学ぶ講座(東京・大阪)

8/3(日)午前9時30分〜午後4時10分に渋谷キャンパス学術メディアセンター常設ホールで開催。

大阪では、7/21(月・祝)の同時開催、ホテルアウリーナ大阪で開催。

右記の受講料・内容についてお問い合わせ・申し込みはエクステンションセンターへ。(03・5466・0270)

キャリアサポート

第2回学内合同企業説明会

7/2(水)午後2時〜午後5時。各企業を招いて開催する学内説明会。対象は4年生。

インターンシップ事前研修

7/9(水)4限・7/14(月)6限。インターンシップ参加に向けて必要な事前準備を説明。対象は1〜3年生。

夏休み…就活どうする?!「秋採用対策に今動く!」

7/16(水)4限。秋採用に向け、夏季休暇活用方法を解説。対象は4年生。

以上、渋谷キャンパスで実施。申し込みはKISSMAPYキャリアサポートシステムで。

その他のイベント等は、本学ホームページで確認ください。

### 第53回 若木体育祭 五月晴れの下、開催される

5月18日、五月晴れのたまプラーザキャンパスでは国学院大学体育連合会主催による、第53回若木体育祭が開催され、部会やサークルなどの所属者を中心に、多くの学生が参加した。



応援にも思わず力が  
(腕相撲)

午前9時に体育館で開会式が行われ、体育連合会顧問の紺井博則経済学部教授、佐藤長門学生部長・文学部教授、若木体育祭実行委員会委員長の小田部大樹君(日大4)があいさつした。

午前10時からは、グラウンド、体育館アリーナA・B、剣道場、柔道場の5会場ですつとサーカスやバレーボール、腕相撲など12競技で熱戦が繰り広げられた。各競技に入賞したチームや個人には豪華賞品が準備されており、競技参加者はもちろん、応援の歓声にも熱がこもる。参加者には全員に参加賞が配られ、競技後のスポーツハイと共に大きな満足感も得ていた。

正午からの昼休みには、吹奏楽部の演奏とドリル競技部SEALSのソングリーディングが披露。また競技終了後の午後4時頃には全学応援団によるリーダー公開が行われ、体育祭に参加した学生から温かい拍手が送られた。

## 成績優秀者奨学生52人 入試成績優秀者奨学生6人 決定

国学院大学は、平成26年度の成績優秀者奨学生ならびに入試成績優秀者奨学生を英制度奨学生を発表した。成績優秀者には、文学部から21人、経済学部から9人、法学部から9人、神道文化学部から6人、人間開発学部から7人の合計52人が決まった。また、入学試験成績優秀者育英制度奨学生には、文学部が2人、神道文化学部が1人、人間開発学部が3人の合計6人が選ばれた。



奨学生にあいさつをする赤井学長

たまプラーザキャンパス312会議室で行われる。渋谷キャンパスの表彰式で、赤井益久学長は、皇典講究所設立の告諭と論語の一節を引用し、「成績だけが良い人間ではなく、己に厳しく、周囲の人を思いや

り、影響を与える生き方をしたい」と祝辞を述べた。続いて、奨学生それぞれに各学部長から表彰状が授与された。

授与終了後、入学試験成績優秀者育英制度奨学生の川勝雄太君(史1)は「両親に少し恩返しができた。能力を高め、よい教員を目指したい」とあいさつ。風早さんは、「大学で得た縁と運にありがとうという気持ち

を忘れず励んでいきたい」と決意を述べた。最後に、宮内靖彦法学部長・教授があいさつし、「見聞を広め、深く広く世の中を知り考えることを心がけて精進してほしい」と学生たちを激励した。

### 硬式野球部 東都1部春季リーグ 優勝にあと一歩 悔しい2位

国学院大学硬式野球部は、東都大学野球1部春季リーグ(4月7日～5月29日)で、7勝4敗・勝ち点3と健闘し2位に入った。優勝は、勝ち点4の亜細亜大学で、戦後初の6季連続。

トナインには選ばれた左腕・田中大輝君(史4)ら4年生が活躍。昨年活躍した杉浦隼大氏(現東京ヤクルト)

ト、平26卒・12期日文らの抜けた穴を埋めた。野手陣では、主将で、不動の先頭打者として活躍した山下幸輝君(経ネ2)と満塁でベストナインに選ばれ、打率同リーグ2位の小木曾亮君(外野手・初、健体4)の1・2番コンビがチームを牽引。2度のサヨナラ勝ちを演じるなど打線に粘り強さが出てきた。ベストナインには、佐々木駿君(捕手・初、日大4)山下君(三塁手・初)柴田龍拓君(遊撃手・2回目)経2)が選出。選出者数では同リーグ最多であった。

本学は、初戦の中央大学戦で勝ち点を落とし、その以外には接戦を物にして着実に勝ち点を積み重ねた。最終週の亜細亜大学との対戦を前に一時は首位に立ったが、直接対決を1勝2敗で落とし、惜しくも優勝を逃した。

投手陣では、初めてベスト4勝をあげた田中君

4月27日、本学相模原グラウンドで本学ソフトテニス連盟主催平成26年度東都学生ソフトテニス春季リーグ戦・男子1部で、本学ソフトテニス部男子が2位の成績を残した。

初戦の文教大学、第2戦の東京経済大学に敗れたものの、続く順天堂大学に5-0、専修大学に4-1と快勝。最終戦の東海大学では3-2と接戦をものにした。

また、5月10日・11日にはサニーコート(千葉県白子町)で関東学生ソフトテニス連盟主催の平成26年度関東学生ソフトテニス春季リーグ戦が開催され、同部・男子が2部

3位となった。初戦の相手となった東洋大学には善戦するも一歩及ばず2-3で勝ち点を逃した。しかし、続く日本大学には5-0で快勝。第3戦の立教大学と第4戦の順天堂大学に勝利し、最終戦へ。事実上の優勝決定戦となった東海大学との戦いは惜しくも2-3で敗れ、最終的に勝ち点で3位となった。

なお、同部所属の齋藤翔一君(史2)と宮城利紀君(神文1)のペアが同リーグ戦全での試合に勝利し全勝賞を獲得。女子は、首都リーグ3部で2位。関東リーグ7部で2位の成績を残した。

### 平成25年度若木チャレンジ賞 3人・4団体が受賞



表彰式後の記念撮影に納まる受賞者たち

国学院大学若木育成会が、学業・スポーツ・社会貢献等で成果を上げた団体・個人を顕彰する平成25年度「若木チャレンジ賞」の表彰式が、5月17日グラウンドプリンスホテル高輪のプリンスルームで開催された同会本部総会懇親会の席で行われ(関連記事別掲)、それぞれに表彰状と奨励賞金が贈られた。表彰者および団体、テーマは次のとおり(敬称略)。

- ◆英会話研究会V EVO I Union◆絵本キャラバン▽学びの場をひろく▽絵本キャラバン◆金子良太◆ゼミ渡邊班▽会計事務所における真空マーケティングとは◆体育連合会水泳部▽水泳部3部昇格までの苦悩の道

#### 〈個人の部〉

(学年は応募当時)

- ◆右寺悠城(健体3)▽中学野球指導を通しての人間開発の実感◆中村大輝(初教3)▽東日本大震災被災地における復興支援活動と防災教育への取り組みについて◆高山寛(法3)▽政府と協力して遺骨収集を行うNPO法人の運営

#### 学生団体・個人の成績

- ◆陸上競技部II第93回関東学生陸上競技対校選手権大会(主催・関東学生陸上競技連盟)が5月16日から25日まで熊谷スポーツ文化公園陸上競技場と日産スタジアムで行われ、男子2部ハーフマラソン決勝で湯川智史君(経営4)が6位入賞。男子2部110mハーフ決勝で松永晃雅君(健体2)が5位入賞を果たした。
- ◆柔道部II平成26年度東京都学生柔道優勝大会(男子63回女子25回)が5月25日に日本武道館で行われ、同部

はベスト8に入った。この結果、全日本学生柔道優勝大会(男子63回女子23回)の出場権を獲得した。

◆剣道部II第60回関東学生剣道選手権大会(主催・関東学生剣道連盟)が5月11日に日本武道館で行われ、入江洋平君(経ネ3)が、4回戦で敗退したが、全日本出場決定戦で勝利し、第62回全日本学生剣道選手権大会の出場権を獲得した。

◆卓球部II平成26年度春季関東学生リーグ戦(主催・関東学生卓球連盟)が5月13日、15日、16日に所沢市民体育館で行われ、男子は、所属する2部で2勝3敗の4位、女子は所属する2部で3勝2敗の3位だった。

◆相撲同好会II第93回東日本学生相撲選手権大会(主催・公益財団法人日本相撲連盟)が6月8日に両国国技館で行われ、同部は団体Cクラスで準優勝を果たした。

◆スポーツチャンバラ武刀会II第6回田邊杯争奪戦大会(主催・公益社団法人日本スポーツチャンバラ協会)が5月18日に静岡市由比体育館で行われ、神戸昇次君(法2)が小太刀初段の部で優勝。内藤洋平君(法3)が短刀の部で優勝。石光大生君(法3)が槍の部で準優勝を果たした。

### 代官山でひまわりの植え ～代官山連携事業～



大学のブルゾンを着て参加する本学学生

5月3日・4日、渋谷区代官山坂で行われた「第9回ひまわりガーデン代官山坂」に、秦信行経済学部教授・田原裕子同教授とゼミ生、相模同好会の学生たちが参加した。このイベントは、平成18年に街の中心地にある代官山坂の中央分離帯スペースを有効活用しようと企画されたもので、主催はひまわりガーデン代官山坂実行委員会、共催には代官山ステキな街づくり協議会など多数の団体や企業が関わっている。本学は、法人会員として参加しているNPO法人代官山ステキ総合研究所の活動の一環として参加した。

会場は、本学から徒歩で15分ほどの距離にある渋谷区代官山町14付近。当日は好天にも恵まれ、午後1時からスタートした活動には、大勢の関係者や地域住民などが参加した。本学の学生たちは、参加者の受付や誘導、種付けの手伝いなどを行った。種が蒔かれた一帯は、夏には「ひまわりガーデン」として開放され地域住民の目を楽しませてくれる予定だ。